



だいや川通信

今市の水を守る市民の会

第29号

2010年6月23日(水)

今市扇状地は地域の宝！

—水の会結成10周年に思う—

平成12年に発足した当会は、今春10周年を迎えました。

福田健彦前代表の後を引き継いで一年、会員の皆さんや市民の方々のご協力のもとに例年通りの活動を行うことができましたことをここに感謝いたします。子供向けには「川むしたんけん」を、大人向けには「ゆったりウォーク」を継続することができました。

特に3回シリーズの歩く会は、「ミステリーウォーク」と称して市内の用水めぐりを行いました。市内中心部を流れる西裏用水・東裏用水は大谷川から導かれたもの、そして大桑方面には古大谷川から引かれてきた用水があり、それらの地域を歩くことで全く新しい光景を発見することができました。昔活躍した大きな鉄製水車との遭遇もそのひとつで、水田耕作が拡大していった時代の香りを強く感じさせるものでした。

山の残雪が小さくなり始めると川は水量を増し、そしてその水は用水に取り込まれて大きな水路から小さな水路までいき渡っていきます。そこでは私たち人間を始め、たくさんの生き物たちが生きる力を与えられて賑やかな春を迎えます。蛙の鳴き声が騒々しいなどと言ったら罰が当たりますね。私たちにはあまりにも身近すぎて当たり前になってしまっていますが、昔から繰り返されてきたことが今も続いているというのはむしろ珍しいことなのかも知れません。

日光連山・大谷川・水田。この三つの条件がそろっているからこそ今市扇状地が成り立ち、そこに水が蓄えられていきます。そのことを私たちは市民としてもっと認識し、大切に思っていくことが求められる時代に入ったと知るべきでしょう

水は限りある資源です。私達の足元にこんなに大きな貴重な宝があることを、多くの市民に届けるメッセージとしてこれからもこの活動が続けていきます。今年度もよろしくお祈りします。
(塚崎)

目次:

今市扇状地は	1
会計報告	1
活動報告	2
沢アザミ	2
川むしたんけん隊	2
ミステリーウォーク 第2回・第3回	3
ウォーク、川むし アルバム	4

お知らせ

次回の定例会

6月30日(水)

日光市民活動支援センター
午後1時～2時

今市の水を守る市民の会・会計報告

2009年4月1日～2010年3月31日

2009年度の会計報告をお知らせします。

今回の通信に、振り込み用紙を同封いたしました。本会は、会員からの収入および寄付金等で運営されています。本会の趣旨をご理解いただき、会員の継続をよろしくお願いいたします。(事務局)

現在会員数：56

(下写真：ヨウスイミステリーウォーク3にて)



収入

会費 個人会員	37,000
会費 団体会員	9,000
ゆったりウォーク参加費	2,900
教育見本市参加謝礼	7,000
ネット使用料返戻	10,478
合計	66,378

支出

支援センターロッカー使用料	1,200
通信印刷・コピー料	3,280
通信送料	12,960
ネット使用料	8,925
保険料	2,210
慶弔費	30,000
雑費(お礼・みやげ・広告)	10,953
合計	69,528

2008年繰越金	226,110
2009年収入	66,378
	292,488

2009年残高	222,960
---------	---------

活動報告

- 1月24日(日) 新年会と1月定例会
2月5日(金) 平成21年度 上都賀地区
「ふれあい学習ネットワーク」で活動紹介
2月14日(日)
ヨウスイ・ミステリー・ウオーク(第2回)
3月24日(水) 3月定例会
4月25日(日)
ヨウスイ・ミステリー・ウオーク(第3回)
4月28日(水) 4月定例会
5月26日(水) 5月定例会
5月29日(土) 川むしたんけん隊
(NPO法人なんとなくのにわ・サイエンス・カフェに協力)

沢アザミ

林道脇の草むらに大きなとげとげの莖をひろげ、
沢アザミが伸びている。
山ウドやフキなどちがって、この山芋木に手を
出する人はほとんどいない。
適当なところで切り取り、莖を落し茎の方から
皮をむく。
ホキリと折れるところから先が食べ頃だ。
水からゆでアクをぬく。
ナベに水を少し、サトウ・しょうゆ・ゴマ油も少々入れ
コトコトと煮る。
煮汁がへって、味がしみたら出来上り。
箸休めに、酒のつまみにもいける。
又、みそ汁の具にしても、野性の味が採れしめる。
青森方面では、若葉の頃のアザミが好んで
食べられていたが、莖のアザミの方がうまいと
思う。

(隅)



川むしたんけん隊

5月29日(土) 10:00 ~ 12:00
NPO法人なんとなくのにわ サイエンス・カフェ に協力

霧雨、気温11度、水温13度という悪条件にもめげず、小百川さくら公園に集まってくれた小学校1年~4年生の子ども達と共に、小百川に初めて入って「たんけん」をしました。
小百川は大笹牧場の山からくだった水、今市を潤す源流のひとつです。環境省発表の水質判定指標生物に照らし合わせてみると、その種類からこの場所の小百川は「きれいな水」と判定することができました。初めて川の中の生き物たちと対面した子ども達も多く、慣れてきたら自分で顕微鏡を使ってしっかり観察することもできました。また引率の父兄も、川での遊びにこんな方法があることを初めて知って本当に楽しかった、と感想を寄せてくれたのはとても嬉しいことでした。見つかった指標生物は次の通りです。

きれいな水に棲む生き物：プラナリア(ウズムシ) カワゲラ ヒラタカゲロウ ヘビトンボ

少しかたない水に棲む生き物：カワニナ(貝)

指標生物以外の生き物：カジカ(魚) マダラカゲロウ フタオカゲロウ モンカゲロウ

キタカミトビケラ(巣と幼虫) サナエトンボ科ヤゴ オタマジャクシ

ゲンゴロウ類(マメゲンゴロウ モンキマメゲンゴロウ ケシゲンゴロウなど)

悪天候のため、例年より早めに川から上がりましたが、虫の数がとても多くて驚きました。カジカも幼魚がたくさん見つかりました。大人も子供も全員夢中になって熱中したひととき、たくさんの目はとても大きな力になると思いました。次回も皆さんの力を待っています。

幼虫の中には私が今回初めて目にしたものもありました。その一つはカワゲラで、写真(右)に写っている二匹は頭部の模様が違っています。Vのような印があり、また尻が白くなっているのはジョウクリカワゲラに似ており、もう一匹はフタツメカワゲラの種類かもしれません。また、体長1cm、象牙色の胴体から内臓が透き通って見える芋虫のような虫(写真左)も見つかり、アシナガバエ科の幼虫のように思えました。いずれも私の今の知識ではこの2種についてはっきりとした名前



を挙げられないのが申し訳ないところですが、こういう発見があるのがこの活動の醍醐味です。川むしたんけんは楽しいですよ。今年もまた川に入りましょう。(塚崎)

ヨウスイ ミステリー ウォーク 第2回(2月14日)、第3回(4月25日)

第2回「東裏用水」参加者の声

■初めてなのでとても楽しかったです。今市にいてもなかなかこんなところがあるのかわかりませんでした。一日楽しかったです。ありがとうございました。

■「水の流れをたどる旅」、とても楽しかったです。ふだん見過ごしている名所旧跡も取り入れていて身近な発見もあり、とてもよかったです。距離的にもほどほどでした。こうしたツアーをもっとやっていただきたいです。身近な所にある「ミステリーゾーン」発見の旅をすすめましょう。

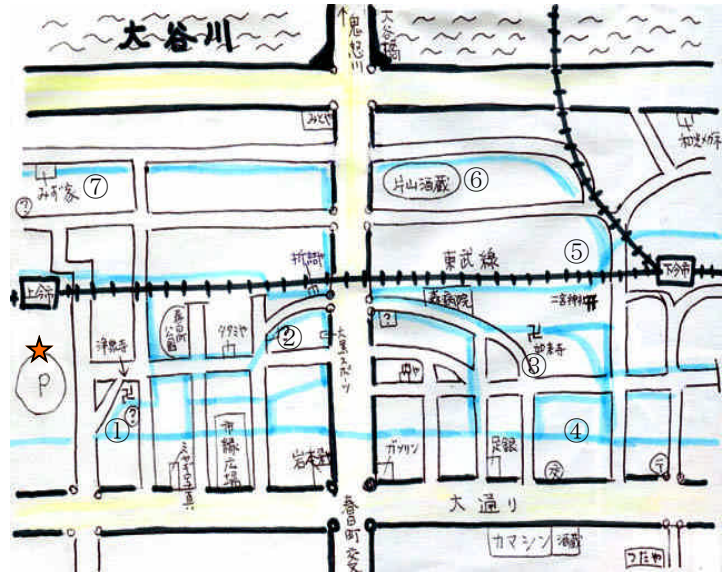
■思いがけない道や場所に出会えて、さすが「ミステリーウォーク」だと思いました。楽しかったです。

■水路を求めてうら道探検がおもしろかったです。歩いた事のない道？をゆっくりのんびり歩いて、今市の水の豊かさに気付く事ができました。

■初めての参加で、用水路の仕組みがよくわかり楽しい一日でした。ありがとうございました。

■歩きでないと見つけれない所がたくさんあって、そこが見られて楽しかった！ 不思議なところもいっぱいありますね。

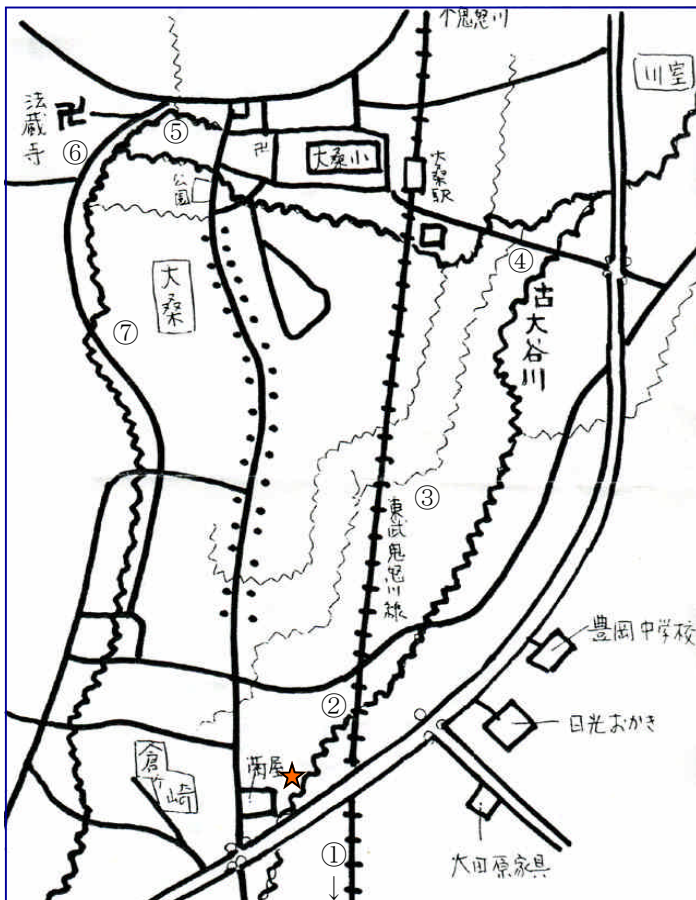
■まず、天気が良くてゆったりウォークには丁度良かった。雪道を歩くのも、またよし。車でなく、歩くのは発見が多くていいが、一人で歩くのはつまらないし発見が限られてしまう。皆の目で見て、ゆっくりおしゃべりしながら歩くのは、いい時間を過ごしている感じで良かった。



■40年以上、地区に暮らしていても知らない。今回、用水などがとても多く有ることを知り、また参加させていただきたいと思います。

■町の中をのんびり歩き、思いがけない発見！とても楽しい半日でした。ありがとうございました。

■久しぶりの参加でした。市内は本当に歩くことがなかったので、ミステリープレイスを歩いて良かったです。今市は水の豊かな所であり、それを表に流して、「街なみと水」をテーマにするとおもしろいと思いました。



左下(古大谷川周辺案内図) 上(東裏用水案内図)
いずれも ☆は集合地点 ①、②は歩いた順路の目安で

第3回「古大谷川周辺」に参加して

私にとって、このコースのミステリー、みち(未知・路)との遭遇は事前の下調べから始まりました。コース終盤の杉並木鑑賞公園向かい側の路の傍らの林が、なんと「ショウジョウバカマ」の大群生地だったのです。しかも開花真っ盛り！こんな何気ない日常の路で見られるとは驚きです。自転車を押した買い物帰りの地元のご婦人が通りかかると、すかさず塚崎代表が聞き取り取材。それによると、この路は小学校の通学路になっており、地元の有志が毎日お掃除をして下さっているそうです(路がきれいなのも驚きでした)。ショウジョウバカマは以前から群生していましたが、不法採集のために減っているとのことでした。ずっと守りたいエリアです。

本番当日の感動は「法蔵寺」の「シダレザクラ」です。ちょうど見頃の華やかなサクラの下での昼食は貴重な時間でした。途中の地元麴屋さんではお味噌を買いました。このお味噌を使うたびに、あの旧会津街道を思い出します。

ヨウスイウォークの割には、ヨウスイ以外の事が記憶に残りました。ミステリーです。(毛塚)



上：浄泉寺でお話を伺う。
右：如来寺境内の古い石積み

ミステリーウォーク (東裏用水) 2月14日



郵便振替口座

00140-4-535550

連絡先

〒321-1102 日光市板橋1732-1 森 方
今市の水を守る市民の会
0288-27-2183 (8時～17時:森)
0288-26-3324 (17時～21時:塚崎)
<http://somesing.net/daiyagawa/>

ミステリーウォーク (古大谷川) 4月25日

右：水路跡に残る大きな鉄製水車。
杉線香原料の粉ひきに使われたのでしょうか。
右下：もうすぐ水のはいる水田脇を
ゆったり歩きました。
下：法蔵寺でお昼。満開のしだれ桜の前で記念撮影。



川むしたんけん隊 (小百川) 5月29日 (2ページ)

小雨の中、川虫探し

公園の東屋で分類



編集後記

第3回のミステリーウォークのコース図を眺めていたら、8年ほど前の「今市市・新エネルギープロジェクト」を思い出しました●1930年から50年代半ば頃まで、農家仕事の動力や家庭の照明のために、水路に発電設備を設置している家があったことが委員会で話題になりました。その後、私と中島さんと10軒ほどの家を訪問、聞き取り調査を行ったのです。そのとき伺ったNさん宅が集合場所の近くでした。「ミステリー」に集まった皆さんに、Nさんからローカル水力発電の話をしていただけないだろうかと考え、お願いしました。幸い、快く引き受けてくださり、倉ヶ崎周辺の水路の案内までお世話になってしまいました。本当にありがとうございました●Nさん宅では「らせん」と呼ばれる水車を自宅そばの水路に置き、利用していたそうです。当時あちこちで使われていたという「らせん」は図書館の隣にある日光市歴史民俗資料館で見ることができます●水量と地形に恵まれた今市周辺では、それぞれに工夫をこらした自家発電が普及していました。そのせいか、周辺地域に比べて商用電気の普及が遅れたという話を調査時に聞きました。今市地区の「ローカル水力発電史」は、今後まとめてみたいテーマのひとつです。(T)